

あたらしい年になりました

県議会議員

わたなべ美穂です!

新春のお慶びを申し上げます



あけましておめでとうございます。令和7年が皆様にとって平穏で安らかな年でありますように心からお祈り申し上げます。本年もわたなべ美穂ならびに後援会にご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以下はこの報告紙を「ほたる」と呼ぶことに気づいた私の思い出話です。昭和が平成に変わる頃の遊軍記者時代、熊本県庁企画部の職員が「一番ボタル見つけた運動」を展開しました。その結果熊本県の全市町村でホタルの生息が確認されました。さすが大阿蘇が育てた「水のくに」ですね。私は小学校や各地のボランティアが取り組むホタルの飼育と放流を夢中で取材しました。春一番が吹いて水がぬるみ始める夜、毛虫のようなホタルの幼虫はもうおしりを光らせながら川を出て土にもぐり、成虫となる初夏を待ちます。ホタルはきれいな川にしか棲めないの、熊本では水資源を守る環境運動とつながっています。

わたなべ美穂後援会 会長 高瀬昭登

困む会

県政報告会のご案内

日時 2月22日(土)10時 場所 桜町公民館

どなたでもどこの地域でもご参加いただけます。(朱雀2-5-1)

後援会研修開催



11月19日、素晴らしい秋晴れのもと、50名超の後援会の皆さんと大牟田市の三池炭鉱を中心とした世界遺産を視察しました。明治以降の日本経済を支えた歴史、事故や労働争議の歴史、また三池の発展に大きく貢献した檀琢磨氏の存在、大牟田市民の多くがそれらを胸に刻んでいること。実際に炭鉱で働いていたボランティアガイドの方の説明を受け、これまで知らなかった大牟田の姿に、参加された皆さんは「たいへん勉強になった」と感激されていました。

12月議会報告

代表質問

会派の代表質問の中で主だった項目に対する答弁です。

●地域公共交通の維持について

県ではこれまでも交通事業者向けの支援を行ってきた。今後市町村に対し地域公共交通計画の策定に伴う国の補助制度を活用し維持を図っていただくよう周知していく。
(太宰府市は未策定。今年度中に策定予定)

●県営住宅の有効活用

入居資格を緩和し、60歳以下の単身の方も入居可能としたほか、外国人留学生・コロナ禍で職を失った方・ウクライナ避難民の方も受け入れることとした。この他要望によっては困難を抱えた方の入居なども検討する。

●私立学校におけるいじめ対応

いじめの重大事態への対応の仕組みが県立学校と違っていているため、早期発見などが困難な状況になっているが、今年4月県に設置した「いじめ対応・教育支援班」がきめ細かな指導を行い、対応を強化していく。

一般質問 不登校児童生徒への支援について



2023年度福岡県内小・中学校の不登校児童生徒数は17,859人、県立高校では1,998人となり、増加の一途をたどっています。この不登校児童生徒のうち学校での健康診断を受けていない子どもは1万人程度と推計されます。学校保健安全法で定められた健康診断は、児童生徒の健康保持・増進のためにも重要です。未受診者が医療機関で診断を受けると保険適用外で実費が請求されます。これらのことから、まずは詳細な実態調査、その上で未受診者への対応について要望しました。このほか学習意欲の高い不登校児童生徒へ分身ロボットを使った学習支援について提案しました。

選挙の際の
お約束です

市議会議員 との 意見交換会

11月12日、11名の太宰府市議会議員の参加を得、意見交換会を行いました。県有地の有効活用や県から市への補助制度など、県の動きと市の考え方を共有し、太宰府市民にとってより良い市政運営について議論を重ねています。

新春の集いの 開催

- 日時 / 2025年2月11日(火・祝) 13時受付 / 13時30分開会
- 場所 / プラム・カルコア太宰府 4階多目的ホール
- 内容 / 第1部 新春のつどい わたなべ美穂の県政報告
第2部 後援会総会 14時30分~15時30分



手話で

よろしく
お願いします

鼻先に置いた右手こぶしを開きながら前に出し、軽く頭を下げる



資料：
糸島市公式ウェブサイトより

皆さんの声を
お聞かせください!

WEBサイトも
ご覧ください!

あなたとつなぐ県政
わたなべ美穂事務所

〒818-0125 太宰府市五条3-4-38
電話:092(918)1121 FAX:092(918)1128

